

2026年7月2日  
損害保険ジャパン株式会社

さいたま市と『災害に強く誰もが安心して暮らせる地域社会の実現』を目指した  
連携協定の締結について  
～さいたま市 消防局・消防団 との連携を開始します～

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：石川 耕治、以下「損保ジャパン」）は、さいたま市の地域レジリエンスのさらなる向上を図るため、さいたま市（市長：清水 勇人）と『災害に強く誰もが安心して暮らせる地域社会の実現』を目指した連携協定を7月2日に締結したことをお知らせします。



### 1. 背景・経緯

損保ジャパンは、1888年に日本初の火災保険会社として創業し、当時の警視庁より認可された唯一の私設消防団を組成し、身を挺してお客さまを火災からお守りする火消しという地域貢献を行っていました。現在はこの「火消しの精神」を「HIKESHI DNA」と再定義し、激甚化する自然災害への対応や社会課題の解決に貢献する「HIKESHI DNA 2030 Project」を全社で展開しています。

このような背景のもと、防災の最前線である消防・消防団との連携を強化し、災害に強く誰もが安心して暮らせる地域社会を目指すため、さいたま市へ連携を提案しました。

当社が地域の消防・消防団と連携し、支援する取組みはさいたま市が全国で初めてとなります。

### 2. 協定の目的

損保ジャパンとさいたま市は、防災・減災に関する幅広い連携を行うことにより、さいたま市の地域レジリエンスの向上を目指します。

### 3. 協定の主な内容

以下の項目において業務連携を行います。

- (1) 地域の消防・消防団への寄贈に関する事
- (2) 地域の消防・消防団活動に対する組織・人的支援に関する事
- (3) 地域社会における防災減災意識の向上に関する事
- (4) 前各号に掲げるもののほか、相互に協力することが必要と認められる事項

### 4. 今後について

損保ジャパンは、今回の協定締結を契機としてさいたま市消防局と連携し、災害に強く安心・安全な地域社会の実現に取り組んでいきます。



## HIKESHI DNA 2030 Project

「HIKESHI DNA 2030 Project」は、当社の原点である"火消しの精神"を今に受け継ぎ、地域と連携して「災害に強く、だれもが安心して暮らせる地域社会の実現」を目指すプロジェクトです。

以上